

漣標

Miotsukushi

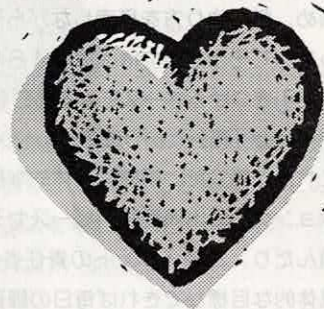
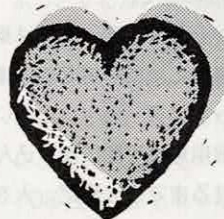
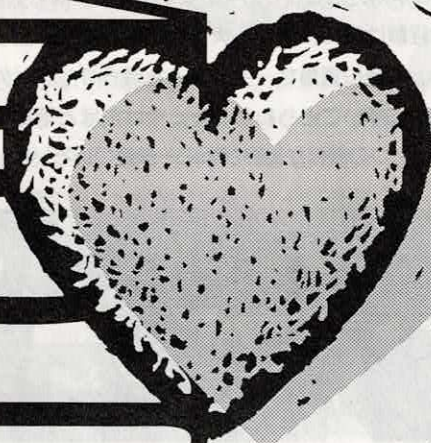
1997年5月20日発行

大阪府青年国際交流機構

会長 松本 仁孝

No.64

MIOTSUKUSHI



今号の紙面

第9回世界青年の船りポート

9年度総会&世界船報告会

滋賀メンバーと
びわ湖でバーベキュー

第9回世界船レポート



ア・カペラコーラス隊をつくる方法

第9回世界青年の船 本橋 桃子

コーラスの経験なし。楽譜は苦手。カラオケなら歌える。こんな一人の日本人が世界船史上初のア・カペラコーラス隊を結成し、大成功することができた。半分運が良かったとしか言いようがない。今だから話せるア・カペラ隊をつくる方法。マニュアルのないところに本当のおもしろさがある。何のヒントもない、全くの手探り状態で一から始めるだけにやりがいがあった。

まずどんな人が乗ってくるのか全然わからないので、実際は乗船して見えてくることが多い。それでも臨機応変に対処できる準備はぬかりなくやっておかねばならなかった。ア・カペラに向いていそうな曲のテープとその歌詞を最低限用意して船に乗り込んだ。いざ始めたら、とりあえず軌道に乗せるまでが大変だ。人を集め、常にやり方を模索しながら形づくっていく。集まると言っても簡単には人は集まらない。そこで早い段階にメンバーを引きつけるベースになるものを見極め、確立しておく。「スキヤキ」と「花」という曲の美しいメロディが外国人にウケたとき、これだと感じた。同時に具体的な目標の設定も重要だ。エキシビジョンデーの出演要請、ピースセミナーの宣伝に使ってほしいと頼んだり、各種イベントの責任者に交渉して仕事をとってくる。具体的な目標ができれば毎日の練習にも熱が入る。軌道にのってまだまだ気はぬけない。ここから特に一人ひとりのメンバーへのケアが重要になってくる。まめに声をかけ、ここぞというときのための人間関係を作っていく。船には面白いことがたくさんあ

るから、人がさっぱり引いて来なくなることもある。ここで辛抱強く粘る。毎回声をかけ続ける。必ず夜10時にスカイベランダへ行けば、モモ（私）がア・カペラをやっているという安心感をそれぞれの心に植え付けることができたなら、しめたものだ。私はコーラスに関して全くの無学で、右も左もわからない状態から始めたけれど、何より自分が楽しんでやるのが一番。ボランティア活動の基本もこれだと思う。モモが楽しくて笑っていたら、そういう所に人は自然と集まってくるものだと助言してくれた友人がいた。自分に余裕がなくなったときがイエローカード。そういう緊張感不思議と伝わってしまう。なるべく早く協力的な友人を見つけて、仕事の分担をしておく必要がある。

今回の経験は私に、無から大きな可能性を生み出すことを教えてくれた。同時に貴重な一生の友人も得られた。以外と外国青年は義理人情に厚いこともわかった。今は前ほど地球がデカいとは思わない。いつの間にか世界が私に一歩近づいていた。



にっぽんまるファミリー

第9回世界青年の船 稲垣 美由貴

一年ちょっと前までは、自分自身が「世界青年の船」に参加するなんて、予想もしていなかった。ひょんなことで、この事業の受験を決め、後は自然に任せてがむしゃらに日々すごしてきたら、今日この報告書を書いているなんて。私に新しい世界をくれたこの「世界青年の船」は、人間のすばらしさを再認識させてくれた、かけがえのない私の財産である。

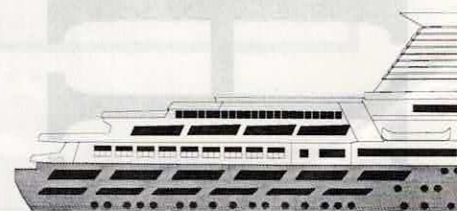
13ヶ国の青年が約300人、同じ空間で生活をするのだから衝突は当然避けられないものと思っていた。私は自己主張が日本人より強い外国青年に対して「どうして自分を表現するばかりで、相手を理解しようとししないのか」ということにやるせない感じがしていた。でも、日々彼らと生活をする中でそれこそが立派な文化の違いである、と気づいた。

日本社会では相手をおもんばかり、自分自身は謙虚である、ということが美德である。しかし、船の中ではそうはいかない。謙虚もたまにはいいのだが、自分という人間を表現するのに、謙虚という回りくどい方法よりも、とにかく自分の欲求を表現する。人間同士のコミュニケーションがもっとシンプルでダイレクトな気がした。郷にいれば郷に従え、というのがその通りで私も結構ダイレクトにものをいう彼らに慣れてしまい、またそんな彼らが何

とも人間くさく、愛すべき人たちだなあ、としみじみ感じている自分にある時気づいた。「あれ、はじめの頃抱いていた彼らに対する摩擦感はいずこへ……」その時私は「ああ、私たちはにっぽんまるファミリーなんだなあ」と感じた。

また外国青年にとっては、日本人の謙虚さや相手を思いやる態度が新鮮でもあったようだ。私たちは自分の持つ文化を知った上で、相手の持つ良さをようやく意識したとき、お互いが歩み寄り始めた。誰が言ったのか、「DIFFERENCE IS BEAUTIFUL」そして、コスタリカの青年が言った「WE ARE MORE ALIKE THAN DIFFERENT」という名文。どちらも私にとっては宝石のような輝きを持つ言葉である。率直さ、そして私はありのままでもいいのだ、ということに参加青年は彼らの流儀でたくさん教えてくれた。

人間は本当はみんな同じである。こんな簡単なこと、わかっているつもりでも、そのことを体感したときのことを思い出すだけで、熱いものがこみ上げてくる。私の大切な大切なかけがえのない大きな家族。人間ってこんなにいいもんだって体で感じる毎日、この経験を日常生活でも伝え、活かしていくのが私の今後の目標である。





「VIVA! NIPPONMARU!!」

第9回世界青年の船 佐々木 淑子



「We are more alike than different.」

日本丸での生活もちょうど半分にかしかっていた頃、コスタリカでのレセプションにてあるコスタリカ代表青年が、大統領にこのような言葉で、これまでの生活から自分達が学んだことを表現した。それはまさに、誰から教えられたわけでもなく、ただ自然に私たち13ヶ国からの参加者が船内で生活を共にすることから学び得たとても単純なことであった。

しかし、考えてみれば出発前の時点で、訪れたこともない国の世界地図を広げたところで、いったいどこに位置するかも定かでない国からやってくる青年達が、自分達と何ら変わらない同じ様な感覚・興味を持っていることなど誰が想像することができただろうか。

船での生活は毎日が超刺激的?!で、真っ青な空と海の上で、プレゼンテーションで、ディスカッションで、夕日を眺めながら、星空を見上げながら、踊りながら、笑いながら、泣きながら、国境のない「人間交流」を参加者全員が十分に満喫した。

中でも各国代表者が何か月も前から練習を重ねてきた国別紹介のプレゼンテーションは、その迫力と素晴らしい自国の文化を伝え



ようとする友人達の真剣な姿に心打たれ、皆大変感動したものだ。

また、外国青年達の日本に対する興味の深さが想像以上であった事も印象的だ。自主活動で作られた「日本語クラス」には、いつも生徒達があふれており、彼等はカタコトの日本語をしゃべることが、もう楽しくて楽しくてしょうがない様子であったし、100名近くにもなった武道クラブのメンバー達は、クラブ発表の日に向けてデッキで朝練を行ったという話である。

このように長期間にわたって13ヶ国もの国の友人達と過ごした経験は、私にとってかけがえのない一生の思い出となったと共に、新しく得た多くの知識が今後の長い人生に、大きな影響を与えてくれるものとなった事を今確信している。そして何よりもこのような素晴らしい経験を得るチャンスを与えてくださった政府・その他お世話になったすべての方々から感謝したい。

9 年 度 総 会 と 世 界 船 報 告 会

去る4月13日、近畿ブロック幹事会及び平成9年度大阪IYEO総会と世界青年の船帰国報告会及び平成9年度総務庁国際交流事業の説明会が大阪府青少年会館で行われました。今回は大阪IYEOでは初めて、応募者（応募をして試験を受ける前の人）にも案内を出し、22名の参加があり、IYEO関係でも26名が参加しました。まず松本会長より8年度事業報告と会計報告があり、次に、この1月20日から3月21日まで大阪から世界青年の船に参加した稲垣さん、佐々木さん、坪井さん、本橋さん、西尾さんによる訪問国及び船での体験談やそれぞれが感じたことを熱く語っていただきました。その後、事業説明会では、各事業を代表して日韓派遣に参加した兵庫IYEOの幡さん、日中派遣では滋賀IYEOの石川さん、育成交流事業では大阪IYEOの阪原さん、東南アジア青年の船は、兵庫IYEOの野田さん、世界青年の船は昨年参加した赤木さんに、体験談を交えて事業の説明をしていただき、応募者は熱心に耳を傾けていました。その後行われた懇親会には20名ほどが参加し、そのうち応募者6名は最後まで熱心にOBの話聞いていました。その姿からこの事業に対する熱い思いが伝わり、頼もしく感じたと同時に、全員合格してほしいものだと思います。 Good Luck!!



ビデオレターのその後



前回の滞標「世界船レポートin コスタ・リカ」の最後にアカブルコの空港で偶然出会った外国人参加青年達のメッセージをビデオに収めたと書きました。その後4月13日（日）、世界船のメンバーに帰国報告をもらった後、例のビデオレターを披露しました。そのビデオレターに登場した外国人青年と当日報告してくれ

た世界船メンバーのうちの一人が偶然にも同じグループだったので感動も大きかったようです。

また、ビデオレターとともにアカブルコでの出港もみなさんに観ていただき、あのつらいお別れシーンには帰国報告をしてくれたメンバーだけでなく、参加した年代を問わず誰もが感動していたようです。

琵琶湖でバーベキュー

ゴールデンウィークの疲れもとれない5月10日(土)、滋賀IYEO主催によるバーベキュー大会が琵琶湖のマイアミ浜オートキャンプ場で行われました。大阪、京都、奈良のIYEOメンバーも加わり総勢30名が集いました。

集合した頃は、湖畔から吹く風が冷たく感じられましたが、買い出しが済み準備を終え、炭火に火がいった頃には新緑の中、心地よい風になり、春の一日を楽しむことができました。滋賀のメンバー



は、IYEOだけではなく、県主催の国際交流事業に参加した青年達や、滋賀大学に留学しているカナダ人とブラジル人も参加し、楽しく食べながら交流もできました。

企画から当日の役割分担まできめ細かく準備してくれたのは、滋賀の期待の星☆石川氏であり、今後も恒例事業としたいと語っていました。また秋には、果物狩りを企画しているそうなので、皆さんも参加されてはいかがでしょうか。

INFORMATION BOARD

●近畿ブロック海外派遣青年のつどい

来る7月5・6日、奈良市にて平成9年度近畿ブロック海外派遣青年のつどいが開催されます。

当日は平成8年度の事業に参加した青年たちによる帰国報告会、レクリエーション、懇親会が行われる他、オプションツアーとして奈良町散策、茶がゆなども企画されています。

宿泊できない方は1日だけでも参加OKですのでお待ちしております。申し込み締切は5月29日です!!

●メキシコダンス1日入門体験

アミーゴ!! あなたもメキシコダンスに挑戦して楽しく踊りませんか?今回は広島から先生を迎え、ベラクルス州の踊りを練習します。はじめての人でも簡単に踊れますので興味のある方はご連絡ください、お待ちしております。

6月1日(日)、豊中市の青年の家「いぶき」で行われます。参加費は3,000円です。

詳しくは…メキシコ民族舞踊研究会
TEL&FAX06-975-0801(夜間)岡本まで

●モンゴルフェア

在阪モンゴル人の人と友達になろう!モンゴル大使の講演、モ

●モンゴル料理…モンゴルをもっと知りたい人の為の楽しいイベント。
●とき:6月8日(日)ところ:ドーンセンター 参加料:1,000円
●※要予約/6月4日まで(定員36名)
●〇問い合わせ:JIS国際親善交流センター/06-944-2315

●開発と女性～アジアの21世紀に向けて
—国際協力ひろば特別シンポジウム—

●とき:5月31日(土)PM2:00~5:00
●ところ:千里・よみうり文化センター

入場無料

●〇問い合わせ

●読売新聞大阪本社事業開発部 TEL.06-366-1847
●(財)吹田市国際交流協会 TEL.06-366-1847
●(財)とよなか国際交流協会 TEL.06-843-4343
●(財)箕面市国際交流協会 TEL.0727-27-6912

OFIXにボランティアセンター設置

●(財)大阪国際交流財団(OFIX)に、「OFIXボランティアセンター」が開設されました。ボランティアルームの無償提供、国際交流イベントや情報の収集、コーディネート、研修会の開催、図書・資料等の整備などを行います。

●場所は、JR・地下鉄「森ノ宮」駅より5分。

●利用時間は、9:30-17:30

●お問い合わせは、TEL:06-973-7500/FAX:973-7575

青春後記

イランで大きな地震が起きた。地震後数日はその報道がテレビや新聞で流れたが、ほんの2、3日だったような気がする。死者は2,400人を超すと言っていたが、その後の情報がほとんど入ってこない。遠い国、またどちらかと言えばあまり親しみのない国のできごとで、関心のないのも無理はないだろう。しかし、阪神淡路大震災で多くの事を学んだ日本だからこそできることがあるだろうし、また同じ地震国として、政治的・宗教的なものを超えて普段からもっと情報を交換しあえるような関係は作れないのだろうかと考えてしまう。地震予知研究などに関してもアメリカなどはネットワークを結んでいるようだが、イランなどとはどうなのだろう。イラン村落部では石積みの家が多く、90年の地震では約3万5千人が亡くなっている。貧しさゆえ、堅固な家屋を造ることはできないのかもしれないが、何か方法はないのだろうか。

仕事や家事に忙しく(一応これでも主婦なので!?)、そしてある意味で平和な毎日を送っていると、そんなことを疑問に思うことも忘れていたり、また、どうせ何にもできないんだから、とってしまいがちだが、そう思う前にそんな状況の中でも何かできることはないかと考える姿勢だけは忘れたい。そうでなければ、「何が国際交流機構だ!」と思うのですが、皆さんはどう考えでしょうか? OH! NO!